

## 沈国威教授 略歴



### 〈略 歴〉

1954年3月22日	中国遼寧省瀋陽市に生まれる
1970年-1975年	黒竜江省建設兵団 浩良河化肥廠 工具
1975-1978年	黒竜江大学日本語科
1978-1979年	北京建築工業出版社
1979-1981年	北京外国語大学日本語科修士課程
1981-1985年	北京語言学院（現在の北京語言大学）教師
1986-1988年	大阪外国語大学大学院文学研究科修士課程
1988-1991年	大阪大学大学院文学研究科博士後期課程
1991-1998年	神戸松蔭女子学院大学，講師，助教授
1993年2月1日	大阪大学より，博士（文学）の学位授与
1998年4月1日より	関西大学文学部，外国語教育機構，外国語学部，助教授，教授
2013年3月6日	関西大学より，博士（文化交渉学）の学位授与
2021年3月	関西大学名誉教授
2024年3月31日	関西大学外国語学部特別契約教授定年退職

〈研究業績一覧〉

【著書】

1. 近代日中語彙交流史——新漢語の生成と受容, 1994年3月, 東京: 笠間書院, 全430頁
  - ① 近代日中語彙交流史——新漢語の生成と受容, 2008年8月, 東京: 笠間書院, 全480頁 (改訂新版)
  - ② 近代日中語彙交流史——新漢語の生成と受容, 2017年6月, 東京: 笠間書院, 全480頁 (改訂新版新装版)
2. 電腦による中国語研究のススメ, 2000年12月, 東京: 白帝社, 全200頁
3. 近代中日詞彙交流研究——漢字新詞の創製、容受與共享, 2010年2月, 北京: 中華書局, 全582頁, 54万字
4. 漢外詞彙教学新探索, 2014年5月, 大阪: 関中研, 全323頁
5. 嚴復與科学, 2017年5月, 南京: 鳳凰出版社, 全290頁
6. 一名之立旬月踟躕——嚴復訳語研究, 2019年1月, 北京: 社会科学文献出版社, 全370頁, 32.8万字
7. 新語往還: 中日近代語言交渉史, 2020年7月, 北京: 社会科学文献出版社, 全600頁, 58万字 (3の改訂増補版)
8. 科学 (概念史叢書), 2023年1月, 江蘇人民出版社, 全179頁, 12万字
9. 語彙力の獲得, 2023年3月, 関西大学出版部, 全230頁

【編著書】

1. 『新爾雅』とその語彙, 1995年10月, 編著, 東京: 白帝社, 全290頁; 中国語増訂版, 上海辞書出版社, 2011年, 318頁
2. 『六合叢談』(1857-58)の学際的研究 (付語彙索引・影印本文), 1999年10月, 編著, 東京: 白帝社, 全780頁, ほか執筆者6名; 中国語版, 上海辞書出版社, 2006年, 全782頁
3. 植学啓原と植物学の語彙——近代日中植物学用語の形成と交流, 2000年3月, 編著, 関西大学出版部, 全308頁
4. 近代啓蒙の足跡——東西文化交流と言語接触: 『智環啓蒙塾課初歩』の研究, 2002年3月, 共編著, 沈国威・内田慶市, 関西大学出版部, 全334頁
5. 『遐邇貫珍』の研究, 2004年1月, 共編著, 松浦章, 内田慶市, 沈国威, 関西大学出版部, 全718頁; 中国語版, 上海辞書出版社, 2005年, 全718頁
6. 19世紀中国語の諸相: 周縁資料 (欧米・日本・琉球・朝鮮)からのアプローチ, 2007年3月, 共編著: 内田慶市・沈国威, 東京: 雄松堂出版, ほか執筆者9名, 全303頁
7. 漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成——創出と共有, 2008年9月, 編著, 関西大学出版部, ほか執筆者16名, 全469頁

8. 言語接触とピジン —— 19 世紀の東アジア（研究と復刻資料），2009 年 3 月，共編著，内田慶市・沈国威，東京：白帝社，全 388 頁
9. 近代東アジアにおける文体の変遷 —— 形式と内実の相克を超えて，2010 年 3 月，共編著，沈国威・内田慶市，東京：白帝社，ほか執筆者 9 名，全 276 頁
10. 近代英華華英辞書解題，2011 年 3 月，編著，関西大学出版部，全 248 頁
11. 鄭其照字典集成 影印與解題 初版／第二版，2013 年 4 月，共編，沈国威・内田慶市，東亞文化交渉學會，全 385 頁；中国語版，商務印書館，2016 年 11 月，全 387 頁
12. 環流する東アジアの近代新語訳語，2014 年 7 月，共編著，沈国威・内田慶市，ユニウス，ほか執筆者 15 名，全 338 頁
13. 東アジア言語接触の研究，2016 年 3 月，共編著，沈国威・内田慶市，関西大学出版部，ほか執筆者 14 名，全 440 頁
14. 漢語近代二字語研究 —— 語言接触與漢語的近代演化，2019 年 10 月，編著，上海：華東師範大学出版社，全 320 頁，35 万字
15. 亞洲概念史研究第 5 集，2019 年 12 月，共編著，北京：商務印書館，ほか執筆者 16 名，全 250 頁
16. 西土与近代中国：羅伯聃研究論集，2020 年 3 月，編著，関西大学出版部，ほか執筆者 5 名，全 310 頁
17. 文化交渉と言語接触，2021 年 2 月，共編著，沈国威・奥村佳代子，東方書店，ほか執筆者 16 人，全 538 頁

#### 【学術論文】

1. 「新名詞」について，1983 年，『日本語論纂』2，日本国際交流基金
2. 近代における日中語彙交渉の一類型 —— 「関係」について，1988 年，『国語語彙史の研究』収，和泉書院，第 9 卷，17-37 頁
3. 漢語の日本両国語における意味の変化，1989 年，『日本語語源研究会誌』，15 号
4. 「V + N」構造の二字漢語名詞について —— 動詞語基による装定の問題を中心に，言語交渉の観点から，1990 年，『国語学』，160 号，134-124 頁
5. 「鉛筆」は日本借用語か？，1990 年，神戸大学中川研究室『日本語と中国語の対照研究』
6. 大阪外大図書館蔵『英華字典』，1992 年，『国語学』，170 号，69-72 頁
7. 中国語における正反疑問文とその選択原理について，1992 年 3 月，神戸松蔭女子学院大学『文林』，26 号，37-66 頁
8. 珊瑚の場合 —— 在日中国人子弟の二言語併用，1992 年，月刊『言語』大修館書店，Vol. 20，No. 8，38-42 頁
9. 近代語彙体系における訳語の造出と借用 —— 「影響」を中心として，1992 年，『国語語彙

- 史の研究』収, 和泉書院, 第12巻, 155-180頁
10. 『新爾雅』とその語彙について, 1993年3月, 神戸松蔭女子学院大学『文林』, 27号, 53-85頁
  11. 近・現代の語源——「鉛筆」, 1994年6月, 『日本語学』, Vol.12-7, 59-65頁
  12. 現代中国語における日本製漢語, 1994年8月, 『日本語学』, Vol.12-8, 41-49頁
  13. 中国の近代学術用語の創出と導入——文化交流と語彙交流の視点から, 1995年3月, 神戸松蔭女子学院大学『文林』, 第29号, 51-72頁
  14. 近代における漢字学術用語の生成と交流——医学用語編(1), 1996年3月, 神戸松蔭女子学院大学『文林』, 第30号, 59-94頁
  15. 漢語の育てた近代日本語——西学東漸と新漢語, 1996年9月, 『国文学』, 学燈社 Vol.41-11, 80-86頁
  16. 相手格の「と」とその周辺, 1997年, 『大河内康憲教授退官記念中国語学論文集』, 東方書店, 47-63頁
  17. 近代における漢字学術用語の生成と交流——医学用語編(2), 1997年3月, 神戸松蔭女子学院大学『文林』, 第31号, 1-18頁
  18. 新漢語に関する思考, 1998年3月, 神戸松蔭女子学院大学『文林』, 32号, 38-61頁
  19. 王夫之用過「物理」「化学」麼?, 1999年, 『詞庫建設通信』(香港), 第19号, 29-30頁
  20. 訳語「化学」の誕生, 1999年3月, 関西大学『中国文学会紀要』, 第20号, 1-34頁
  21. 『泰西人身説概』(1623)から『全体新論』(1851)まで——西洋医学用語の成立について, 2000年3月, 関西大学『中国文学会紀要』, 第21号, 1-18頁
  22. 日中語彙交流の話し——明治期を中心として, 2000年3月, 光華女子大学文学部編『日本語を考える』収, ナカニシヤ出版, 37-54頁
  23. 译名“化学”的诞生, 2000年3月, 『自然科学史研究』, 第19巻第1期, 55-71頁
  24. 『智環啓蒙塾課初歩』(1856)における前期洋学書訳語の継承と発展, 2001年3月, 関西大学『東西学術研究所創立五十周年記念論文集』, 151-166頁
  25. The Creation of Technical Terms in English-Chinese Dictionaries from the Nineteenth Century, 2001年, *New Terms for New Ideas: Western Knowledge and Lexical Change in Late Imperial China*, 2001. Edited by Ph.D. Lackner, Michael, Iwo Amelung, Joachim Kurtz, Brill Academic Pub. 287-304頁。
  26. 漢字形態素の類型と漢字・語彙教育, 2002年3月, 『文化事象としての中国』関西大学出版部, 377-397頁
  27. 漢城大学奎章閣所蔵漢訳西書, 2002年4月, 『或問』(近代東西言語文化接触研究会会誌), 第4号, 87-96頁
  28. 中国語教育のためのコーパスの構築と応用——関西大学の試み, 2003年, 共著: 沈国威・

- 水野善寛, 『関西大学情報処理センターフォーラム』, 18 卷, 57-63 頁
29. 近代日中語彙交流 —— 逆転への道程, 2003 年 3 月, 関西大学『中国文学会紀要』, 第 24 号, 69-90 頁
30. 明治の学問の用語, 2003 年 12 月, 『日本語学』, Vol.22-12, 34-44 頁
31. 貿易通志について, 2004 年 3 月, 『或問』, 第 7 号, 111-118 頁
32. 關於古城貞吉的『滬上銷夏録』, 2004 年 10 月, 『或問』, 第 8 号, 155-160 頁
33. 1819 年的兩本西方地理書, 2004 年 10 月, 『或問』, 第 8 号, 161-166 頁
34. Windows パソコンにおける中国語の検索 —— EmEditor を例に, 2005 年 3 月, 『関西大学視聴覚教育』, 第 28 号, 1-15 頁
35. 譯詞と借詞 —— 重讀胡以魯『論譯名』, 2005 年 5 月, 『或問』, 第 9 号, 103-112 頁
36. 近代西方新概念の詞彙化 —— 以「陪審」為例, 2006 年 3 月, 『アジア文化交流研究』, 第 1 号, 1-20 頁
37. 黄遵憲の日語、梁啓超の日語, 2006 年 6 月, 『或問』, 第 11 号, 135-146 頁
38. 『辞源』與現代漢語の新詞, 2006 年 12 月, 『或問』, 第 12 号, 35-58 頁
39. 清末民初中国社会对新名詞的反應, 2007 年 3 月, 『アジア文化交流研究』, 第 2 号, 105-124 頁
40. 蘭学の訳語と新漢語の創出, 2007 年 3 月, 『19 世紀中国語の諸相』収, 内田慶市・沈国威編, 雄松堂出版, 217-261 頁
41. 黄遵憲『日本国志』の編碼與解碼, 2007 年 4 月, 関西大学『東西学術研究所紀要』, 第 40 輯, 125-155 頁
42. 時代的転型與日本途径, 2007 年 12 月, 台北聯経出版, 241-270 頁
43. “一名之立、旬月踟躕” 之前之後 —— 嚴訳與新国語の呼喚, 2008 年 3 月, 『東アジア文化交流研究』, 創刊号, 311-335 頁
44. 漢外詞彙教育的質與量, 2008 年 3 月, 関西大学外国語教育研究機構紀要『外国語教育研究』, 第 15 号, 87-95 頁
45. 『官話』(1916) 及其訳詞 —— 以「新詞」「部定詞」為中心, 2008 年 3 月, 『アジア文化交流研究』, 第 3 号, 113-129 頁
46. 關於『和文奇字解』類の資料, 2008 年 7 月, 『或問』, 第 14 号, 117-128 頁
47. 漢語の近代新詞與中日詞彙交流 —— 兼論現代漢語詞彙体系的形成, 2008 年 11 月, 南開大学『南開語言学刊』, 第 1 期, 72-88 頁
48. 梁啓超與日語 —— 以『和文漢読法』為說, 2008 年 12 月, 北京大学『現代中国』, 第 11 輯, 76-90 頁
49. 日漢辞典的黎明期, 2008 年 12 月, 『或問』, 第 15 号, 75-84 頁
50. 中国語コーパスの現状, 2009 年 1 月, 『国文学 解釈と鑑賞』, 1 月号, 141-149 頁

51. 『時務報』の東文報訳と古城貞吉, 2009年3月, 『アジア文化交流研究』, 第4号, 45-71頁
52. 嚴復與「科学」, 2009年3月, 『東アジア文化交渉研究』, 別冊第4号, 143-162頁
53. 日本発近代知への接近——梁啓超の場合, 2009年3月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 第2号, 217-228頁
54. 西洋人記録の世紀之交の新漢語, 2009年4月, 関西大学『東西学術研究所紀要』, 第42輯, 101-111頁
55. 「漢語」與「近代」——置身於東亞語境中的思考, 2009年6月, 『澳門語言學刊』, 第1号, 20-23頁
56. 前・後期漢譯西書譯詞的傳承與發展——以《智環啓蒙塾課初步》(1856)中的五帶名詞為例, 2009年6月, 上海古籍出版社, 『中華文史論叢』, 2009年第2期, 總94期, 247-276頁
57. 近代東亞語境中的日語, 2009年7月, 『或問』, 第16号, 85-98頁
58. 「一名之立、旬月踟躕」之前之後——嚴訳與新國語的呼喚, 2009年7月, 『從周邊看中国』, 復旦文史專刊之一, 中華書局, 413-444頁
59. 造新字為訳詞與西方新概念的容受——以日本蘭學者與來華傳教師為例, 2009年10月, 『浙江大學學報』(人文社會科學版), 2010年第1期, 121-134頁
60. 關於清学部編『簡易識字課本』(1909), 2009年12月, 『或問』, 第17号, 83-100頁
61. 嚴復と清末学部編『國民必讀課本初稿』(1910), 2010年2月, 共著: 沈國威・孫青, 雄松堂出版, 松浦章編『東アジアにおける文化情報の発信と受容』, 31-54頁
62. 清末の國民必讀書について——形式と内容の間で, 2010年3月, 沈國威・内田慶市共編著『近代東アジアにおける文体の変遷——形式と内実の相克を超えて』, 東京: 白帝社, 233-272頁
63. 異文化受容における漢字の射程——日本の蘭學者と來華宣教師の場合, 2010年3月, 『アジア文化交流研究』, 第5号, 231-251頁
64. 中国語と近代, 2010年3月, 関西大学『外国語学部紀要』, 第2号, 13-22頁
65. 日語難嗎?, 2010年3月, 関西大学『外国語学部紀要』, 第2号, 1-10頁
66. 日本研究專家學者的搖籃: 大平班, 2010年8月, 『大潮涌動: 改革開放與留學日本』, 社會科學文獻出版社, 第1卷, 79-87頁
67. 日本の術語、中国の術語——その歴史的歩みと展望, 2010年12月, 明治書院刊・月刊『日本語学』, 2010年12月号, 36-45頁
68. 香港英華書院的出版物在上海和上海——以『遐邇貫珍』、『六合叢談』為中心, 2011年2月, 『出版文化的新世界: 香港與上海』, 上海人民出版社, 201-219頁
69. 現代漢語「歐化語法現象」中的日語因素問題, 2011年3月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 別冊第7号, 141-150頁

70. 關於清学部編『簡易識字課本』(1909), 2011年4月, 『清末の中国語』韓国: 学古房, 209-233頁
71. 理論與實踐: 近代漢外辭典的誕生, 2011年4月, 『學術月刊』, 2011年4月号, 121-130頁
72. 嚴復與譯詞: 科學, 2011年6月, 『翻譯史研究』, 復旦大學出版社, 第一輯, 114-137頁
73. 王肇鎡の『訳文須知』について, 2011年7月, 『或問』, 第20号, 127-134頁
74. 近代における日中語彙交流について, 2011年9月, 内田慶市・中谷伸生編『東アジアの言語・文化・芸術』, 301-314頁
75. 近代關鍵詞與近代觀念史, 2011年10月, 『印刷出版與知識環流: 16世紀以後的東亞』, 上海出版社, 423-432頁
76. 新名詞と辛亥革命期の中国——日本の影響を中心に, 2011年11月, 王柯編『辛亥革命と日本』, 東京: 藤原書店, 237-259頁
77. 新名詞與辛亥革命時期之中国, 2012年2月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 第8号, 195-206頁
78. 嚴復與其門生熊元鏗, 2012年2月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 第5号, 231-223頁
79. 詞源探究與近代關鍵詞研究, 2012年6月, 『東亞觀念史集刊』, (台湾), 第2期, 263-282頁
80. 日語借詞的研究: 回顧与前瞻, 2012年6月, 『日語學習與研究』, 2012年第3号, 1-9頁
81. 「野蛮」考源, 2012年12月, 『東亞觀念史集刊』, 第3号, 383-403頁
82. 近代關鍵詞考源: 傳統、近代、現代, 2013年6月, 『東亞觀念史集刊』, 第4号, 417-437頁
83. 近代東亞語境中的文明和野蠻: 以「野蠻」的詞史為中心, 2013年, 香港中文大學『走向翻譯的歷史』, 第三輯, 37-60頁
84. 双音節化與漢語的近代演進: 胡以魯的漢語後天發展論, 2013年12月, 『或問』, 第24号, 139-154頁
85. 從《天演論》到《原富》: 以嚴復、吳汝綸的書札為素材的考察, 2013年, 『翻譯史研究』, 復旦大學出版社, 2013年号, 190-207頁
86. 「形式」與「精神」的拮抗——重讀胡適『文學改良芻議』(一), 2013年3月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 第6号, 43-55頁
87. 『中華大字典』: 邁向近代工具書的第一步, 2013年10月, 『中華書局與中国近現代文化』上海人民出版社, 351-363頁
88. Science in Translation Yan Fu's Role, 2014年, Science and Technology in Modern China, 1880-1940s. Boston: Brill, pp. 93-113
89. 日本語は易しいか: 近代中国人日本語學習史研究からの一視点, 2014年, 王敏編著『日本

- 留学と東アジア的「知」の大循環』, 三和書籍, 143-166 頁
90. 近代英華辞典環流：從羅存德、井上哲次郎到商務印書館, 2014年4月, 関西大学『東西學術研究所紀要』, 第47輯, 19-37 頁
91. 旧文学改良與新国語建構, 2014年7月, 葉雋主編『僑易』, 社会文献出版社, 第一輯, 41-55 頁
92. 近代の新語訳語と中国語の二字語化——日本語の影響作用を中心として, 2014年7月, 『環流する東アジアの近代新語訳語』(沈国威・内田慶市共編, ユニウス), 303-318 頁
93. 連載：中国語語彙学習の話し (1) 語彙力と語彙サイズ；(2) 字から詞へ；(3) 単語の長さ, 2015年4-12月, 『中国語の輪』, 第99号, 12-13 頁；100号, 12-13 頁；101号, 12-13 頁
94. 嚴復科学思想的淵源：從培根到穆勒, 2015年10月, 方維規主編『思想與方法』, 北京大学出版社, 245-290 頁
95. 19-20世紀之交的翻譯與漢語：以嚴復為說, 2015年12月, 『合璧西中：慶祝顧彬教授七十寿辰文集』, 294-311 頁
96. 『中日近代新詞源詞典』の編纂について, 2015年12月, 『或問』, 第28号, 225-242 頁
97. 近代漢字訳語の研究について：中国語からの視点, 2016年2月, 沈国威・内田慶市共編著, 『東アジア言語接触の研究』, 関西大学出版部, 19-51 頁
98. 漢字の意味とその獲得, 2016年3月, 関西大学『中国文学会紀要』, 37号, 15-36 頁
99. 中国近代文体の創出：嚴復の場合, 2016年8月, 『文化交渉学のパースペクティブ』, 吾妻重二編著, 関西大学出版部, 63-83 頁
100. 漢字文化圏における近代語彙の形成と交流, 2016年12月, 『高知大学留学生教育』10号, 19-44 頁
101. 嚴復『天演論』中の培根, 2016年12月, 『青木五郎教授喜寿記念論文集・中日語言文学研究』学苑出版社, 86-97 頁
102. 中国語語彙体系の近代化問題——二字語化現象と日本語の影響作用を中心として, 2017年1月, 『周縁アプローチによる東西言語文化接触の研究とアーカイブスの構築 (東西學術研究所研究叢書 創刊号)』, 内田慶市編著, 遊文舎, 関西大学東西學術研究所発行, 15-35 頁
103. 我們為什麼需要二字詞？——語言接觸與漢語的近代演化：序說, 2017年3月, 関西大学『東アジア文化交渉研究』, 第10号, 101-118 頁
104. 嚴復的「格致」：從培根到斯賓塞——以『天演論』前後為中心, 2017年4月, 『亞洲概念史研究』(南京大学), 第3号, 49-81
105. 嚴復譯詞引發的若干思考, 單著, 2017年5月, 『翻譯史研究』, 2016年号, 190-215 頁
106. 19、20世紀之交的「新名詞」和新国語, 單著, 2017年5月, 孫江ほか編『学衡名家講演録』, 南京大学出版社, 第1卷, 50-62 頁
107. 近代英華字典環流：從羅存德、井上哲次郎到商務印書館, 單著, 2017年5月, 台湾聯經出



- 版社『思想史』7 專號：英華字典與思想史研究，64-102 頁
108. 漢語近代二字語研究 —— 語言接觸與漢語的近代演化：序說，單著，2017 年 12 月，『中國文學學報』，第 8 期，57-91 頁
  109. 『辭源』（1915）與漢語的近代化，單著，2018 年 3 月，『中國出版史研究』，第 4 期（總第 10 期），7-19 頁
  110. 近代書寫語言的形式 —— 文之類別與複音詞，單著，2018 年 4 月，關西大學『東西學術研究所紀要』，第 51 輯，3-20 頁
  111. The Formation of Modern Written Chinese: Writing Categories and Polysyllabic Words., 2018 年 5 月，*Reading the Signs: Philology, History, Prognostication*, Iudicium. pp. 221-236.
  112. 近代漢語の基本語化について，2018 年 6 月，中朝韓日文化比較研究叢書『日本語言文化研究』，第 5 輯 18-28 頁
  113. 漢字的字義及其獲得，2018 年，『日語研究』，第 10 輯，60-74 頁
  114. 詞彙の体系與詞彙的習得，2018 年 6 月，『東北亞外國語研究』，第 2 期，9-15 頁
  115. 漢外詞彙教學與字詞語連續體，2018 年，『澳門理工學報』，第 4 輯，55-60 頁
  116. Francis Bacon in Yan Fu's *Tianyan lun*, 2018 年，*Zcta Historica Leopoldina*, No. 69, pp. 325-338
  117. Evolution 如何譯為“天演”？，2019 年 4 月，關西大學『東西學術研究所紀要』，第 52 輯，3-19 頁
  118. On the Research of Global History and Cultural Interaction in East Asia, 2019 年 5 月，*Journal of Cultural Interaction in East Asia*, Vol. 10, 2019, pp. 3-11.
  119. 近代概念範疇的確立及其詞化：以「權」為例，2019 年 12 月，沈國威共編著，『亞洲概念史研究』（第五輯），北京：商務印書館，5-20 頁
  120. 基本詞彙與基本詞彙化：詞彙体系的近代重構，2020 年 2 月，內田慶市編著『言語接觸研究の最前線（東西學術研究所研究叢書 第 8 号）』，遊文舍，關西大學東西學術研究所發行，23-54 頁
  121. 近代漢語の基本語化について，2020 年 2 月，內田慶市編著『言語接觸研究の最前線（東西學術研究所研究叢書 第 8 号）』，遊文舍，關西大學東西學術研究所發行，55-70 頁
  122. 赫胥黎在日本，2020 年 4 月，『翻譯史研究』，2018 年号，176-198 頁
  123. 漢語詞彙体系的近代重構與語言接觸，2020 年 12 月，『國際漢語教育史研究』，北京：商務印書館，第 2 輯，63-77 頁
  124. 言文一致の語彙的基盤について —— 日中の場合，2021 年 3 月，關西大學『中國文學會紀要』，42 号，1-28 頁
  125. 基本レベルと基本語彙について（一），2021 年 4 月，關西大學『東西學術研究所紀要』，第

54 輯, 右 3-25 頁

126. 赫胥黎的 Evolution 與嚴復的“天演”, 2021 年 10 月, 『亞洲概念史研究』第 7 卷, 9-62 頁
127. 言文一致及其詞彙之基礎: 以日語和漢語為說, 2021 年 12 月, 『亞洲與世界』, 第 4 輯, 13-34 頁
128. 言文一致: 從詞彙看現代漢語的現代性, 2021 年 12 月, 『學術月刊』, 195-206 頁
129. 中国語の近代性と『英華大辞典』(1908), 2022 年 3 月, 『関西大学東西学術研究所創立 70 周年記念論文集』, 遊文舎, 1-20 頁
130. 概念史研究的詞彙史視角與数字資源, 2022 年 3 月, 『KU-ORCAS が開く デジタル化時代の東アジア文化研究』, 関西大学アジア・オープン・リサーチセンター発行, 1-10 頁
131. 近代翻訳史における嚴復の「信达雅」, 2022 年 7 月 1 日, 関西大学『東西学術研究所紀要』, 第 55 輯, 右 3-41 頁
132. Modern Reorganization and Language Contact of the Chinese Vocabulary System, Cultura., 2022 年 10 月, International Journal of Philosophy of Culture and Axiology 17 (2)/2022: pp.137-162
133. 近代翻譯史中的信达雅: 翻譯規範確立的程途, 2022 年 10 月, 『亞洲概念史研究』, 第 9 卷, 85-125 頁
134. 言文一致に見られる現代中国語のモダニティー——その語彙的基盤について, 2023 年 3 月, 奥村佳代子編著, 『周縁資料と言語接触研究 (東西学術研究所研究叢書 第 12 号)』, 遊文舎, 関西大学東西学術研究所発行, 31-58 頁
135. 区别性与词语密度: 章太炎及严复的误区, 2023 年 10 月, 『亞洲與世界』, 第 5 輯, 3-17 頁
136. 从 Graduated Reading: Comprising a Circle of Knowledge, 1848 到《智启启蒙塾课初步》(1856), 2023 年 10 月, 『亞洲與世界』, 第 6 輯, 152-164 頁

#### 【資料整理, 訳注】

1. 奧地利國家圖書館藏近代漢譯西書, 2005 年 11 月, 『或問』, 第 10 号, 247-253 頁
2. 中国近代の科技術語辞典 (1858 ~ 1949), 2007 年 10 月, 『或問』, 第 13 号, 137-156 頁
3. 清末民初『申報』載「新名詞」史料(1), 2013 年 12 月, 『或問』, 第 24 号, 169-180 頁
4. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(I), 2016 年 6 月, 『或問』, 第 29 号, 191-210 頁
5. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(II), 2016 年 12 月, 『或問』, 第 30 号, 127-144 頁
6. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(III), 2017 年 6 月, 『或問』, 第 31 号, 167-182 頁
7. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(IV), 2017 年 12 月, 『或問』, 第 32 号, 139-156 頁
8. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(V ; VI), 2018 年 12 月, 『或問』, 第 34 号, 107-134 頁
9. 対譯與解説: 嚴復『政治講義』(VII ; VIII), 2019 年 6 月, 『或問』, 第 35 号, 99-128 頁

## 【翻訳】

1. 大倉老師（木山捷平『尋常小学校四年の春』），1980年，雑誌『児童文学』北京外文社
2. 蒲田行進曲（映画脚本），1980年，北京外国語大学，『外国文学』
3. 実用文型日語教程（筑波大学の『表現文型』の翻訳），1986年，共訳：沈国威・張大成，北京出版社
4. 漢語口語九百句（日本語版），1987年，上海教育出版社，日本語訳
5. 飼育（大江健三郎作），1989年，北京人民出版社
6. 橋づくし（三島由紀夫作），1989年，北京人民出版社
7. 外国人とのコミュニケーション・第4章語学教育と外国人（J. V. ネウストブニー著），1989年，上海『外国語教育と研究』
8. 日本社会言語学・第4章言語接触（真田信治著），1996年，中国書籍出版社
9. 西周『百学連環・総論』（抜粋），2010年7月，『或問』，18号，181-188頁

## 【辞書編纂】

1. 白水社 中国語辞典，2002年，項目執筆，東京：白水社
2. 日本国語大辞典（第二版），2003年，語誌項目執筆，近代漢語語誌作業部世話人，東京：小学館，300項目以上
3. 中日同形語小辞典，2011年2月，共編，東京：白帝社，200頁
4. 日本語大事典，2014年10月，項目執筆，東京：朝倉出版
5. 中国語成語ハンドブック，2014年4月，共編：沈国威・紅粉芳恵+関中研，東京：白水社，全456頁  
中国語成語ハンドブック [新装版]，2021年8月，共編：沈国威・紅粉芳恵+関中研，東京：白水社，全455頁
6. シン式中国語学習シソーラス，2018年5月，共編：沈国威・楊帥可+関中研，東京：東方書店，全400頁
7. 中国語学辞典，2022年，項目執筆，東京：岩波書店

## 【書評】

1. 評荒川清秀著『近代日中学術用語の形成と伝播：地理学用語を中心に』，1999年12月，『国語学』，199集，左116-111頁
2. 評劉広定著『中国科学史論集』，2002年4月，『或問』，第4号，103-104頁
3. 原創性、學術規則與躬試親験，2005年10月，香港城市大学『九州学林』，248-261頁
4. 評朱京偉『近代日中新語の創出と交流——人文科学と自然科学の専門語を中心に』，2005年10月，『日語研究』商務印書館，第3輯

5. 観念史研究：中国現代重要政治術語の形成（金観涛・劉青峰著），2010年9月，中央研究院中国文哲研究所，第37期，220-234頁

**【教科書】**

1. 那山・那人・那狗，1993年4月，沈国威，木村英樹，中川正之，小野秀樹，東京：白帝社
2. 中国語中級教科書読物・文法編，1993年4月，沈国威・中川正之，東京：白帝社
3. 中国語入門教科書，1993年4月，沈国威・中川正之，東京：白帝社
4. 中国語基本会話，1994年4月，沈国威・中川正之，東京：白帝社
5. 中国語中級教科書応用編，1995年3月，沈国威・中川正之，東京：白帝社
6. ブラッシュアップ中国語：初級から中級へ，1997年3月，沈国威・中川正之，東京：朝日出版社
7. 中国語中級会話トーク・トピックス，1998年4月，沈国威・安力，東京：白帝社
8. 新版・チャイニーズステーション，1999年10月，沈国威・内田慶市，東京：好文出版
9. 中級中国語：資格にチャレンジ，2003年4月，東京：白帝社
10. 中国語@キャンパス（会話編），2005年4月，関中研，東京：朝日出版社
11. 中国語@キャンパス（基礎編），2005年4月，関中研，東京：朝日出版社
12. 心に残る中国語，2005年10月，関中研，東京：金星堂
13. 中国語初級教科書：中文在線（基礎編），2007年3月，関中研，東京：白帝社
14. 中国語初級教科書：中文在線（会話編），2007年3月，関中研，東京：白帝社
15. 好運中国語会話，2008年8月，沈国威，東京：白帝社
16. 中国語初級教科書：中文在線（基礎編）スリム版，2012年11月，関中研，東京：白帝社
17. 中国語初級教科書：中文在線（会話編）スリム版，2012年11月，関中研，東京：白帝社
18. 新・ブラッシュアップ中国語：初級から中級へ，2014年4月，関中研，東京：朝日出版社
19. 中国語@キャンパス（中級・実用編），2008年1月，関中研，東京：朝日出版社
20. 中国語@キャンパス（会話編）スリム版，2010年4月，関中研，東京：朝日出版社
21. 中国語@キャンパス（基礎編）スリム版，2010年4月，関中研，東京：朝日出版社
22. キクタン中国語（初級～上級5点），2011年2月，東京：アルク
23. 選抜・中国語単語（初級編），2021年10月，東京：朝日出版
24. 選抜・中国語単語（中級編），2021年10月，東京：朝日出版

**【学会発表・基調講演】（全国大会と国際学会に限る）**

1. 近代における日中語彙交渉の一型類——「関係」について，1986年，日本国語学会1986年秋季大会（於：岐阜大学）
2. [V + N] 構造の二字漢語名詞について，1989年，日本国語学会1989年秋季大会（於：茨

- 城大学)
3. 近代語彙体系における訳語の造出と借用——「影響」を中心として, 1991年, 国語語彙史研究会 (於: 奈良教育大学)
  4. 近代日中語彙の交流, 1994年, 中国語近世語研究会 (於: 関西大学)
  5. 近代学術用語の研究, 1997年2月, 国際シンポジウム (於: 北京, 中国科学院自然科学史研究所)
  6. 『植学啓原』と『植物学』——文化交流と言語接触, 1997年8月, 国際シンポジウム (於: 上海, 上海科学院歴史研究所)
  7. 文明の反転——「野蛮」の語誌を通して見る, 1999年10月, 日本中国語大会 (於: 関西大学)
  8. 従『泰西人身説概』(1623)到『全体新論』(1851): 医学術語的発生, 単著, 1999年12月, 国際シンポジウム (於: ドイツ, ゲッティンゲン大学)
  9. 逆流は何時から始まったのか——『時務報』の「東文報訳」について, 2003年3月, 国際シンポジウム: 漢字文化圏近代語研究会 (於: 北京外国語大学)
  10. 近代外国語辞書の誕生——その理念と実践, 2009年5月, 孔子学院国際シンポジウム (於: ハンガリー)
  11. 新知識の普及と『国民必読課本』(1910), 2009年6月, 沈国威・孫青, 関西大学 COE 国際シンポジウム (於: 関西大学)
  12. 明治の漢学者と中国の西洋化, 2009年10月, 第二次世界漢学大会 (於: 北京 人民大学)
  13. 香港英華書院の出版物について——上海と日本の場合, 2009年11月, 印刷文化史国際シンポジウム (於: 香港城市大学)
  14. 清学部編『簡易識字課本』(1909)について, 2009年12月, 世界中国語教育史学会第4回大会 (於: 北京外国語大学)
  15. 清末民初国民必読類的文體, 2009年12月, ICIS, CSAC 共催による国際シンポジウム: 近代東アジアにおける文體変遷——形式と内実の相克を超えて (於: 関西大学)
  16. 造新字為訳詞的誤区——以日本蘭学者與来華伝教士の不同実践為説, 2010年1月, 国際シンポジウム: 歴史と概念史 (於: エール大学)
  17. 漢字文化圏の近代キーワードについて, 2010年3月, 国際シンポジウム: 漢字文化圏近代語研究会 (於: 韓国 誠信女子大学)
  18. 關於清学部編『簡易識字課本』(1909), 2010年5月, 国際シンポジウム: 清代民国時期漢語国際学術研討会 (於: 韓国 鮮文大学)
  19. 詞源探求與近代關鍵詞研究, 2012年5月, 第4回東アジア文化交渉学会年次大会 (於: 韓国 高麗大学)
  20. 謝洪賚《華英音韻字典集成》(1902)小考, 2013年5月, 東アジア文化交渉学会 (於: 香

港城市大学)

21. 英華辭典環流：從羅存德，井上哲次郎到謝洪寶，2014年1月，宮廷典籍與東亞文化交流國際シンポジウム（於：北京故宮）
22. 科学とは何か？嚴復の場合，2014年9月，思想與方法：近代中国的文化政治與知識建構，國際高端對話與學術論壇（於：北京師範大学）
23. 近代新詞與漢語的双音節化演進，2015年11月，世界漢語教育史学会（於：厦門大学）
24. 字本位・詞本位之爭的終結，2016年7月，國際シンポジウム「漢字教育」（於：北京語言大学）
25. 国語的科学，科学的国語，2017年9月，國際學術研討會：現代文学與書写語言（於：北京大学）
26. 近代漢語の基本語化について，2017年11月，日本語学会2017年秋季大会（於：金沢大学）
27. 善鄰譯書館與明治期的漢學家——以岡本監輔及其《東洋新報》為中心，2017年12月，第二屆中國翻譯史國際研討會：贊助者的角色（於：香港中文大学）
28. 「權／利・力」考：概念範疇的確立及詞化，2018年3月，中国現代政治-社会關鍵概念研討會：概念史研究的亞洲轉向（於：南京大学）
29. 基于語料庫的近代詞研究，2019年5月，第12回東アジア文化交渉学会年次大会（於：ドイツ 埃爾蘭根大学）
30. 中西如何會通？赫胥黎的「宇宙過程」與嚴復的「天演」，2019年10月，（於：台湾政治大学）
31. 図強與広訳日本書，2020年7月，「翻訳史上的中外文化交流」云端座談會（オンライン：北京外国語大学）
32. 近代漢字詞の基本詞彙化芻議，2021年8月，第12屆漢日對比語言学研討會（オンライン：浙江師範大学）
33. 『英華大辭典』（1908）と中国語の現代性，2021年10月，關西大学東西學術研究所創立70周年記念シンポジウム（於：關西大学）
34. 知識架構與術語的体系性，2022年10月，Sinology networks: interdisciplinary spaces for China studies (II) Villa Vigoni - Centro italo-tedesco per il dialogo europeo
35. 譯者必須懂小學？——章太炎及嚴復的誤區，2022年12月，第三屆近代東西語言接觸研究學術會議（於：韓國 慶星大学校）
36. 西學東漸與東亞近代知識體系的展開，2023年8月，第43次韓國中國學會 中國學國際學術大會：中國學與日常性（於：韓國 中央大学校）
37. 基本詞彙釐定原則芻議，2023年9月，第十四屆全國漢語詞彙学學術研討會（於：上海外国語大学）
38. 西方知識東亞翻譯發達史：源流與譜系，2023年10月，第1回知識翻譯学學術大会（於：

上海外国語大学)

39. 東亞共同國際詞的生成與歧變, 2023年11月, 澳門語言学会 漢字詞語研究國際學術論壇  
—— 歷時與共時視域中的漢字詞語 (於: 澳門科技大學)
40. 使訳名趨向統一的 power 是什麼?, 2023年12月, 第四屆中國翻譯史國際研討會: 翻譯與  
權力 (於: 香港中文大學)

#### 〈研究資金の獲得〉

- トヨタ財団研究助成金 1997, 「日本・中国: 19世紀中葉における學術用語の交流と受容に関する研究—— 総合雑誌『六合叢談』(1857-1858)を中心として」, 250万円
- 同トヨタ財団研究成果助成金 1998, 200万円
- 基盤研究 B, 「16世紀以降西洋人の中国語学研究的文献に関する調査・研究」(平成14-15年度, 研究代表者: 内田慶市); 2002-2003
- 基盤研究 B, 「19世紀「官話」の諸相—— 周縁(ヨーロッパ・朝鮮・琉球・日本)からのアプローチ」(平成18-19年度, 研究代表者: 内田慶市); 2006-2007
- アジア歴史研究助成金 2007, 「漢字文化圏における近代西洋新概念の受容・交流・共有・異化に関する研究」, 財団法人 JFE21世紀財団, 150万円
- 財団法人サントリー文化財団 (Suntory Foundation) 2009, 研究出版助成金, 50万円
- 基盤研究 C 「中国語の近代“国語”への進化に関する総合的研究: 欧化文法と日本語の影響を中心に」(平成22-24年度, 研究代表者: 沈国威); 2010-2012
- 基盤研究 C 「現代中国語への道程: 語彙二字語化における外部誘因、特に日本語の影響に関する研究」(平成27-29年度, 研究代表者: 沈国威); 2015-2017
- 基盤研究 C 「漢字文化圏における二字漢語動詞と形容動詞の発達と交流に関する総合的研究」(平成30-令和2年度, 研究代表者: 沈国威) 2018-2021
- 基盤研究 C 「日中における言文一致の語彙的基盤に関する研究 (A Study on the Lexical Basis of Japanese-Chinese Language Consistency)」2022-2024, 研究代表者: 沈国威

#### 〈表彰〉

- 1982・8・1, 『大倉老師』により、最優秀児童文学翻訳賞 授与
- 1988・12・17, 第1回関西地区大学対抗留学生日本語ディベートコンテスト最優秀ディベーター賞
- 1996・12・1, 著書『近代日中語彙交流史』により、新村財団研究助成金 授与
- 2011・7・14, 論文「西方新概念の容受與造新字為訳詞」により、宋淇翻譯研究論文紀念獎(2010-2011)受賞, 香港中文大學中國文化研究所翻譯研究中心

